

# 同窓会会報

準備号

平成7年3月26日

編集

東京工科大学同窓会

## 「準備号発行の挨拶」

同窓会会長 小島 祐治

皆さん今日は。同窓会会長を務めさせて頂いております小島祐治です。

毎日が忙しい日々の連続ですが、皆様はそれぞれの舞台でご活躍されていることと思います。

さてこの度、念願の同窓会会報準備号をお届けできることとなりました。

在学当時、我々はこの新しい大学で、都心では考えられないような広いキャンパス、自らで築き上げた手作りの大学祭、先生方からのきめ細かいご指導など、他の大学では経験できないような貴重な学生生活を過ごしてきました。ここで得た貴重な体験と、築き上げた人間関係は、社会に出てからも十分に活かしています、また活かしていかなければいけないと考えております。

また、社会に出てから振り返ってみると母校の発展は非常に嬉しく思えることです。そのためには、卒業生がそれぞれの職場で頑張りを、在校生がそれぞれの分野で頑張っていくことだと思います。

同窓会では、会員皆様のエネルギーを集結できるような組織にし、卒業生同士のネットワークを構築すると共に、東京

工科大学の発展に微力ながらも寄与できるように活動して行きたいと考えております。

今後も会員の皆様の相互の情報交換の場となるような会にできればと思っております。多くのご意見をお待ちしておりますので、皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

## 「大学近況3景」

研究棟遠景



図書館前の像



同窓会仮事務所



## 「同窓会の現状について」

同窓会設立の現状について設立の経緯、今後の事業計画について紹介します。

### （同窓会設立の経緯）

「平成2元年度」

・11/14

各研究室に声を掛け有志で同窓会の設立について討議する。

設立の方向で話しを進めることとする。

同窓会設立準備委員会を設立し、各研究室から代表者を選出し、意見の集約を行うことを決定した。週に1回会合を開き、卒業までに準備する。

・11/21

各研究室の代表者によって同窓会設立準備委員会が承認し、発足した。

まとめ役として各学科2名ずつ選出。

・11/28

各研究室の代表者を準備委員とする。

各研究室内の代表者を準備委員とする。

・11/28

会議欠席の場合委任状を提出する。

同窓会の構成は学科別とせず、3学科合同とすることを決定した。

・12/12

会則案・会費について協議した。

・12/12

会則案の協議

名簿は単年度名簿を毎年発行し、卒業生に送付する。

総合名簿（全卒業生分）を5年に1回発行し、会員に配布する。

・12/12

会費は終身会費とし、4万円とする。

・12/12

内訳は通信費として60円×2回×30年

分で3600円。会報代として250円×2

回×30年分で1万5千円。名簿代として

5千円×4回で5年に1回発行するとし

・12/12

・12/12

て、2万円とする。千4百円を諸雑費とする。

・12/19

会費の納入方法を決定。

1.入会案内兼会費請求書は実家へ送付する(卒業・就職で本人住所が把握しきれないため)。

2.納入額が大きいため、分割・延納も可とする。

・1/9

運営していく組織について協議。

役員 会長1名 小島 祐治(1電)

副会長2名 新井 正樹(1情)

田端 安広(1機)

会計監査1名、準備委員会のその他のメンバーは役員として同窓会の運営にあたる。

会則案を準備委員会として承認。

(その他)

謝恩会の場で同窓会設立と役員承認を取ることにした。

役員会を年1回以上開催し、同窓会の運営を協議することとした。

3/26

第1期生卒業。謝恩会で同窓会の設立と役員承認を得る。

「平成2年度」

・11/3

第1回同窓会役員会開催。

平成4年度予算案承認。

同窓会の運営について協議し、評議委員会(総会に代り同窓会の意志決定を代行する機関)、会計監査役を組織することとした。

「平成3年度」

・11/1

第2回同窓会役員会開催。

平成3年度決算報告承認。

平成5年度予算案承認。

役員職務分担決定。

会長 同窓会の代表

副会長 会長の補佐

監査 会計監査

総務 役員会の雑務担当

(事務局との折衝等)

評議員会委員長 評議員会代表

副委員長 委員長補佐

3期生の役員が不在のため、同窓会総会で選出することとした。

「平成4年度」

・10/31

第3回同窓会役員会開催。

平成4年度決算報告承認。

平成6年度予算案承認。

同窓会総会の開催にあたり紅白幕を作成することにした。

平成6年度中に第1回同窓会総会を開催する方向で活動することを決定。

同窓会会報発行について全卒業生に発行することとした。

「平成5年度」

・10/30

第4回同窓会役員会開催。

平成5年度決算報告承認。

平成7年度予算案審議・承認。

平成7年度に5周年を記念する意味を含めて総会を実施することを決定。

総会のお知らせを含め会報を発行する

ことを決定。

会報発行・総会開催の担当責任者決定。

会報編集委員長 新井 正樹(1情)

会報編集委員 永井 聡(1電)

岸崎 康浩(1機)

伊藤 玲(1機)

総会実施委員長 片山 雅晴(1電)

総会実施委員 北川 健一郎(1機)

(事業計画)

「平成7年度事業計画」

・7月 同窓会総会名簿発行

・10月 同窓会総会および懇親会開催

・1月 同窓会会報発行

「今後の事業計画」

会員相互の交流会、在学生のための奨学金制度の設立等。

(永井 聡 電子工学科1期卒)

「大学院設立について」

平成5年(1993年)4月、我々の母校東京工科大学に大学院(工学研究科システム電子工学専攻)修士課程が開学しました。そして今年(1995年)3月には、第1回目の大学院修了式が行われます。

公的な資料によると、「本専攻の特徴は、電子工学、情報工学、機械制御工学に共通の基礎であるエレクトロニクスを基盤とし、その応用である通信、情報、計測・制御等のシステムについて、その各々における専門家であると共に、これらに横断的、学際的に対処できる視野の広い人材を養成することであり、その目

標を達成するために上記の3工学分野にまたがる一元的教育研究体制を構成するところにある。」とのことですが、ともあれ、1995年1月末現在、修士課程においては、男性・女性合わせて2年生16名、1年生14名の計30名(学外からの受験者を含む)が、TA(Teaching Assistant:いわゆる実験のお兄さん。ちゃんと給料もでる。)等をこなしつつ、研究に励んでいます(実は、雑用に追い回されています)。そして、この4月にもまた、学内からの進学者だけで、16名の新しい東京工科大学大学院生が誕生しますし、同時に博士課程も開学するそうです。卒業生の皆さんも再入学してみませんか?

大学院の授業内容や、大学院を担当されている先生方については、スペースの都合もあり割愛しますが、東京工科大学はどんどん変わっています。実は、これを書いている私自身この3月に学校を去る、情報工学科出身の大学院1期生なのですが、母校の発展を見るのはいいものですね。最近つくづくそう思います。

(河野 智明 大学院工学研究科1期了)



## 「学科新設と入試制度」

平成6年度（1994年度）より、新たに「情報通信工学科」が開設されました。通信システムを研究分野とする、畔柳功芳先生を主任教授としています。平成6年度は、138人の学生がこの新しい学科に入學しました。情報工学科が、主にコンピュータとその応用を学ぶのに対し、情報通信工学科では、主にコンピュータや人間相互を結ぶデジタル通信網とその応用を学びます。最近脚光を浴びているマルチメディア通信、全世界を情報ハイウェイで結ぶ構想、人工衛星による構築される21世紀の通信システム構想など、コンピュータと通信の融合を軸に産業構造の変革が進展していると同時に、これらの技術により私たちが近未来に享受できる恩恵は計り知れないものがあると言われており、情報通信工学の重要性がクローズアップされている中で、新学科が誕生しました。明るい明日のフロンティアとなる優れたネットワーク・エンジニアが数年後には東京工科大学から巣立って行くことでしょう。

の他二期募集B方式があります。この方式は、一次選考に大学入試センター試験を採用しています。  
(菅藤 実〈電子工学科2期卒〉)

## 「大学祭について」

大学祭は何の為に行うのか。最近、その様なことを考えています。大学祭というと、高校の文化祭と違って強制参加ではない為に、「大学祭へ行ってもつまらないから、どこか他の場所へ行こう」と思っている学生は少なくありません。大学祭はそもそも学生の為に行うということが大前提となっているはずなのに、その学生たちが来ない大学祭なんて。

しかし、まあ大学祭の企画の方は、年を追う毎に充実してきたと思えます。特に名物となりつつある「デストラクションアワー」（雑誌、卵などから、最終的には自動車までもひたすらぶち壊す）や、「女装大会」（読んで字のごとく男子学生に女の格好をさせるのですが、中には女としか思えないほどの美人や喋る声があるで女だったりするほどの奴等がいる）は、異常なまでの盛り上がりを見せるものですが、それらの中で楽しんでる人達は学生の中のほんの一部だけです。私達大学祭実行委員会は、ほんの一部の学生だけが楽しめる大学祭ではなく、学生全体で楽しめる大学祭を目指しています。

サークルの数も年々増え続けてきました。他の大学に比べると、まだ盛り上がりには欠けますが、例えば昼休みや放課後にローラーブレードをはいた学生達が、

まるで鯉の大群が押し寄せるかの様に行き交っていたり、金曜日には、競馬サークルが競馬新聞を配ったりと、その活動には目を見張る物があります。この様な情熱のあるサークル等と、手を取り合っ

て大学祭という最終目標を目指して頑張っていくつもりですので、今後も皆様、ご支援の程よろしく願います。  
(小笠原 直樹〈情報工学科8期在学中・大学祭実行委員〉)

## 「同窓会役員紹介」

・小島 祐次（電子工学科1期卒）  
同窓会長の小島です。

同窓会を卒業生のため、学生のための集まりにすべく、頭をひねっております。御意見下さい。フィードバックします。

・永井 聡（電子工学科1期卒）  
ごみ焼却場の電気・コンピュータ関連の設計をしています。  
今はやりの環境関連の仕事の為、忙しい毎日です。

・新井 正樹（情報工学科1期卒）  
社会人になってから3年目、それほど忙しいわけはありませんが、あまり自由な時間がとれません。  
もう一度学生に戻りたいです。

・西楨 明（情報工学科1期卒）  
入社してから5年目になり、いつの間にかグループ内で上から3番目下から

は7番目になってしまい、天手古舞の日々を過ごしています。

・栗林 郁郎（情報工学科1期卒）  
私の会社はリストラ真つ最中。

ボーナスが少なくて辛い。  
パラグライダーをやっているけれど、空を飛ぶ時間がない。

・伊藤 玲（機械制御工学科1期卒）  
役員会で年1度来れるか否かなので大学とはまるで御無沙汰してます。  
おまけに遠いのでリクルータにも派遣されないのが残念です。

・田端 安広（機械制御工学科1期卒）  
皆さんお元気ですか。  
私は入社以来変わらず東電鹿島火力で働いています。  
又、今年9月に結婚しました。  
連絡お待ちしております。

・平野 誠（機械制御工学科1期卒）  
私の会社にも数名の卒業生が入社しており嬉しく思っています。  
1期卒業生として一層努力します。

・岸崎 康浩（機械制御工学科1期卒）  
同窓会への参加は初めてで、今のところ肥しと化していますが、よろしくお願ひします。

・菅藤 実（電子工学科2期卒）  
生涯いつたい何人の人と巡り合うことができるでしょうか。  
私は、同窓会を人と人とのネットワーク

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越	24,382,018	会員名簿作成費	272,898
新会員会費	4,610,000	通信連絡費	92,886
雑収入	48,905	会議費	100,284
		備品費	—
		消耗品費	43,301
		次期繰り越し	28,531,554
収入の部合計	29,040,923	支出の部合計	509,369

## 平成5年度収支決算報告

クの場として有効に活用させて頂きたいと思っております。

・長谷川 政行(電子工学科2期卒)  
総務担当として、会員各位の交流に必要な支援環境づくりのお手伝いをさせて頂いていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

・河野 智明(情報工学科1期了)  
こんな若僧がここに名前を連ねるなどおこがましいのですが、種々な人との巡り合いを大事にして頑張っていたと思います。どうかよろしく!

## 「同窓会会報編集方針」

同窓会会報発行は同窓会設立時から予定されていた業務でしたが、この準備号の発行までに5年もかかってしまいました。この間、在学生と卒業生からは同窓会がどのような活動をしているのかよくわからないという声も聞かれました。

同窓会では、同窓会の活動状況、卒業生の近況、大学の状況、同窓会によるイベントの企画等を在学生と卒業生のみならず、みなさんに向けていただくために同窓会会報を有効に活用していきたいと考えています。とくに卒業後に同窓会会員となられる在学生のみならず同窓会がどういふことをしているのかを知っていただくことが最重要課題であると考えます。

また、魅力のある同窓会を作るためにも、みなさんの同窓会に対する御意見の受け皿としても活用していく予定です。同窓会では、みなさんからの御意見、情報をお待ちしております。

今回の会報編集に関しては、大学事務局、在学生、卒業生の方に大変お世話になりました。今後も大学事務局、在学生、卒業生の方と連絡を密にして意味のある会報を発行していきたいと考えています。よろしくお願ひ致します。

最近、インターネットを利用した様々なサービスを個人でも容易に使えるようになって来ました。同窓会では、コンピュータネットワークを利用して学内、さらには学外からも大学の状況や卒業生の連絡先などが検索できるようなサービスを提供したいと考えています。同窓会の会報を電子的に在学生と卒業生に提供で

きる日も近いと思っております。

(新井 正樹)情報工学科1期卒、

会報編集長

## 「会費支払い願ひ」

東京工科大学同窓会(以下、同窓会)は創設以来、早いものでこの3月で満5年が過ぎようとしています。

ところが、残念なことに近年、同窓会への入会率が年々低下しております。これは、規模的な問題から同窓会が思うように活動できなかったことや、同窓会から卒業生の皆様へのPR不足が原因かと考えます。同窓会設立当初の方針として、設立後、5年を目途に本格的に活動を開始する事を掲げていたとはいえ、我々同窓会役員会としてもこの事を謙虚に受け止め、反省しております。そこでこの度、本会報発行から活動を開始してゆく事となりました。また、本年平成7年度中に同窓会総会を開催する予定でありますので、1人でも多くの会員の方々のご参加をいただければ幸いです。

この様に、同窓会では今後も活動を進めてゆく方針でありますので、まだ入会されていない方は、この機会に入会して下さるようお願い致します。

### (会費振込方法)

会費の振込方法についてご案内します。必ず、郵便振り込みでお願いします(申し訳ございませんが、手数料は振り込み人御負担でご容赦願ひします)。

加入者名 東京工科大学同窓会

口座番号 000120016167766  
金額 40,000円

恐れ入りますが、通信欄に以下の事項を記入してください。

- (1) 住所
- (2) 氏名
- (3) 卒業年度
- (4) 出身学科
- (5) 学籍番号

## 「謝辞」

末筆ながら、本会報作成・発行に当たり、東京工科大学事務局、菅藤実君(電子工学科2期卒)、河野智明君(情報工科大学院1期卒)、大塚悟君(情報工科大学院1期卒)、小笠原直樹君(情報工科大学院1期卒)、その他多数の卒業生、在学生のご協力を頂いたことに感謝し、ここに御礼申し上げます。

